



昭和59年6月号 (第218号)

ようやく放牧

さる五月二十八日、小田川山の町営牧場でようやくの放牧が行われました。

今年は、豪雪と低温続きの影響で例年だとこの時期三十センチを超している牧草も十センチ足らずしか伸びておらず二週間以上の遅れとなっています。

この日は朝から上天気、長い間牛舎に閉じこもっていた牛がトラックで次々と運び込まれると、新しい耳標が付けられ、県家畜保健

衛生所の検査を受けました。

牛はすべて黒毛和種で、今年生まれた仔牛五十七頭を含む百三十三頭。検査を終えた牛たちは、牧区の横木がはずされるとモースピードで春の日ざしの中へ駆けてゆき、親子仲睦まじく若草をほおばっている光景が印象的でした。

この牛たちは、約六ヶ月

間青々とした、牧草地で生活を送ります。



緑を次代に



町と金木宮林署主催の五十九年度植樹祭が、さる五月十五日、小田川ダム近くの国有林で行われ、約百五十人の参加者は、快よい汗を流していました。

植樹祭

この植樹祭は、緑を孫子の代に残そう。と毎年実施しているもので、植樹場所は一昨年樹齢約百二十年のヒバを伐採した跡地三・四六haで成長の早い杉苗一万四百本を植える計画です。

植樹に先立ち、鈴木三男宮林署長、古川竹夫町長らが「緑は町の宝、美林を守り育て次の世代へ継承しよう。」などとあいさつ。宮林

▽今正志 県民有林造林保育コンクールに参加入賞し、地域住民に範を示した。



署係員の模範植樹のあと、参加者はクワと杉苗を手に「丈夫に育てよ」と丁寧に植え付けていました。約一時間ほどで千本の杉苗を植樹し終え、いっしょに快い汗がにじみ出ていました。

このあと、山菜採りシーズンに備えて、山火事警防協議会が中央公民館で開かれ、「燃やすまいみんなの暮らしに生きる山」を標語に、山火事防止対策などについて討議しました。

緑化推進に一役

北五林業振興協議会でも

北五地方林業振興協議会(平山文三郎会長)でも、さる五月二十五日芦野公園で記念植樹をしました。

たつて地域の薪炭共用林組合のリーダーとして活躍すると共に山火事防止の啓蒙を図り林業振興に尽力した。

植樹に先立ち同協議会では通常総会を開き、功労者の表彰や町内小中学校にイチイの苗木を贈りました。

この後、公園対岸のつり橋附近に、ソメイヨシノ、ヤエザクラ合わせて百本を植樹。出席者にもイチイの苗木を配付するなど緑化推進に一役買っていました。

なお林業功労者の受賞者は次のとおりです。

▽白川嘉四郎 永年にわたつて地域の造林間伐の推進を図り林業振興に尽力した。

▽米谷甚九郎 永年にわ

▽工藤与右エ門 県民有林造林保育コンクールに参加入賞し、地域住民に範を示した。

全国表彰 子ども会高校生リーダー会

金木地区子ども会子ども連合高校生リーダー会（古川博延会長）五農高三年と決意を新たにしています。がこのほど日本善行会（林敬三会長）日赤社長から同会は現在、中学生と一緒に子ども会リーダー



前には高校生十人で発足し、子ども会行事の計画立案を目的に活動し、子ども会活動の原動力となつていきます。この活動が青少年の健全育成に貢献したものと認められ、去る十九日東京で行われた表彰状の伝達式には、角田和志副会長（金木高三年）が世話人の山本磨さん（大沢内小教諭）と出席。林会長から表彰状と記念のたてを贈られました。角田君は「先輩の功績

が認められたもので受賞に恥ないようがんばります」と決意を新たにしています。同会は現在、中学生と一緒に子ども会リーダーズクラブ（別名カーニバル）を結成。九月に「親と子のつどい」と題して全国子ども会の映画上映を企画するなどして、子ども会活動の一層の発展をめざしてがんばっています。

プレーボール 朝野球



金木町朝野球協会（高橋元弥会長）では五月二十日の早朝、芦野グラウンドで開会式を行い、現在プレーボール中です。開会式は、満開の桜の中そろいのユニホームを着たA級、B級四、百四人の選手達が互いの健闘を誓い合いました。新鮮な朝の空気を吸ってのプレーは、朝野球ならではのものです。野球好きはもちろんのこと、ジョギング代わりに参加している人もいます。最近県大会の出場チームが金木町から出ていないのは非常に残念。と話していた石川孝弘理事長も今年こそはと意気込んでいました。同協会では、試合に先立ち、審判講習会や、グラウンド整備などを実施し、技術向上だけでなく野球に

対する認識も深めようとする力があります。今年度の参加チームは次のとおりです。
A級
▽金木愛球会▽原田でんき▽川倉愛球クラブ▽金木町役場A▽C I T Y II▽大東ヶ丘サントピアホーム▽アポロ吉崎▽藤枝太陽クラブ▽男寿シクラ▽小田川土地改良区
B級
▽マイゲル
▽スマカーペン
ターズ▽下山自動車▽上町クラブ▽金木町役場B▽芦野クラブ▽ダイナミック▽朝日クラブ▽農政局▽喜良市棒球隊▽大宰クラブ▽レックス▽蒔田フェニックス



町来氏藤元ピーター のため の分骨埋葬

遺族、参列者が次々焼香、故人に哀悼の意を捧げました。

遺骨は、故人が昭和三十一年に一時帰国したとき建立した両親らの眠る墓に埋葬され、「これで親や姉らと一緒になれたと喜んでいましょう。」と妹ヒサさんは語っていました。

学校訪問と 記念植樹

父の功績を一見して帰ろう。と二十八日ピーター氏は金木町内の小中高各校の「藤元文庫」などを見学しました。

特に金木小学校では、写真をしていた児童数人にサインを求められ大弱りしていましたが、キバキと応援の言葉をなでました。同氏は父同様各学校に金一封を贈りましたが、この学校訪問で父の偉大さと仁徳に感銘を受けた様子でした。三十一日の帰国を前に、二十九日には来町記念にとピーター氏は芦野公園太宰碑となり、古川町長と記念植樹をしました。

植樹のあとピーター氏は古川町長に「園内の桜を増植して」と金五万円を寄贈し、この日植樹を終えると父の親しくしていた山本耕一氏（前弘大教授弘前市在住）を訪ね一泊し、翌三十日には十和田湖で、藤元昭造さんらと観光を楽しみ、三十一日帰国の途に着きました。

三人のコメント
▽ピーター藤元氏「日本に来てよかった。母はフランス人、父は日本人でアメリカには親類というものがない。金木に来て血の濃さを感じた。ぜひもう一度家族共々来訪したい。」
▽藤元洋子さん（金木）「ピーターは日本人と変わらない。ユーモラスでつつきやすい人。何んでも好んで食べるので大助かりでした。ただ納豆は駄目でした。」
▽佐井川仁さん（通訳）「精神的に疲れました。朝食から入浴までの七日間付きっきりでしたが、ピーター氏は私が言わんとすることを察知して先に確認するような感じでポイントを話しかけてくるので、通訳としては助かった。お役にたてて本当にうれしい。」

金木町名誉町民故藤元嘉嗣氏の次男ピーター藤元氏（ニューヨーク市在住、四十三歳）が、父の遺骨を生まれ故郷に埋葬するため、五月二十五日来町しました。故藤元氏は、去る三月十九日（現地時間）在住先のニューヨーク市で胃ガンのため倒れ、八十四歳を一期に永眠されましたが、生前の意志により古里の菩提寺に弔うことになったものです。

分骨式と法要は、二十七日古川竹夫町長、原田一夫、畠譲ら約百人が参列し、金木町の雲祥寺で、しめやかに行われました。古川町長は故藤元さんの遺徳を偲ぶと共に「藤元文庫」等の功績をたたえる弔いのことを述べたあと、一戸哲三住職の読経の中、

午前九時四十五分、青森空港に着いたピーター藤元氏は、吉崎忠直町助役や親戚知人らの出向えを受け、実家の藤元昭造さん宅に到



父の功績を一見して帰ろう。と二十八日ピーター氏は金木町内の小中高各校の「藤元文庫」などを見学しました。特に金木小学校では、写真をしていた児童数人にサインを求められ大弱りしていましたが、キバキと応援の言葉をなでました。同氏は父同様各学校に金一封を贈りましたが、この学校訪問で父の偉大さと仁徳に感銘を受けた様子でした。三十一日の帰国を前に、二十九日には来町記念にとピーター氏は芦野公園太宰碑となり、古川町長と記念植樹をしました。

植樹のあとピーター氏は古川町長に「園内の桜を増植して」と金五万円を寄贈し、この日植樹を終えると父の親しくしていた山本耕一氏（前弘大教授弘前市在住）を訪ね一泊し、翌三十日には十和田湖で、藤元昭造さんらと観光を楽しみ、三十一日帰国の途に着きました。

金木南中優勝

第二回下山旗争奪西北五中学校選抜ソフトボール大会が、五月二十六日、二十七日の両日五所川原商業高等学校グラウンドで開催され

金木南中学校が見事優勝旗を手にしました。

大会には、十校が参加、決勝戦は金木同志の対戦となり熱戦の末、金木南中が

金木中を破り優勝しました。

▽準決勝

五所 010000 1

金木南 5063x 14

(五回コールド)

(五所二) 秋田ー阿部寿

(金木南) 木下ー加藤

三塁打 阿部咲(五所二)

稲垣 00001 1

金木 2400x 8

戸籍の窓

五月

おめでとう

鎌田 弘美(由弘) 嘉瀬
三上 優美子(憲治) 嘉瀬
野宮 康秀(一穂) 金木
中谷 香織(敬三) 川倉
白川 まり子(孝則) 喜良市
澤田 亜希(幸男) 金木
田中 孝憲(弘之) 金木
白川 さつき(郷文) 川倉
外崎 春香(拓) 嘉瀬
田中 宏幸(秀治) 蒔田
小松 陵平(常二) 嘉瀬

おしあわせに
今 要市(亀二) 喜良市
米谷 蘭子(實) 喜良市
今 昭雄(定平) 喜良市
白川 恵久子(登) 金木
佐藤 讓(欣蔵) 蒔田
蝦名 なな子(勝昭) 稲垣村
白川 節雄(金次郎) 喜良市
近村 八重子(徳司) 金木
田村 泰寛(雄三) 金木
片山 りり子(辰昭) 稲垣村
吉崎 昭造(三太郎) 川倉
松橋 千恵子(繁治) 車力村

秋元 卯之助 (81) 嘉瀬
松尾 ヤサ (75) 金木
内海 徳一 (72) 嘉瀬
阿部 勇三 (80) 金木
今 吉太郎 (83) 喜良市
岡田 さだ (76) 喜良市
新岡 清士 (74) 喜良市

おくやみ



はじめまして

嘉瀬 鎌田 由弘
長女 弘美ちゃん
4月21日生まれ
体重 3,000g

金木高で献血

(五回コールド)
▽決勝
稲垣 三上一秋元
(金木) 中西一三上
本塁打 小田桐(金木)
三塁打 尾野(金木)

金木南 000002100
金木 000001000
(金木南) 木下ー加藤
(金木) 中西一三上

県立金木高等学校(川嶋定和校長)で五月二十九日血液不足に少しでも役立てて。と学校をあげて献血に協力。血液不足にあえぐ関係者から感謝されました。

この献血は、県内で血液が不足し隣りの秋田県から譲り受けるなどのニュースを知った同校が、自主的に役場を通じて申し出たものです。



十六歳以上の男女生徒百六十五人が採血に先立ち血圧測定や血液比重などの検査を受け、入浴した百三十一人が次々と献血。車内のベッドは午前十時から午後三時頃まで満席。血液センターの職員らはうれしい悲鳴を上げていました。

ガソリンスタンドの日曜営業案内

- ▷ 7月1日 小林商店 53-3361
- ▷ 7月8日 伊藤商店 53-2825
- ▷ 7月15日 其田石油 53-3773
- ▷ 7月22日 藤本石油 53-2440
- ▷ 7月29日 飯塚商店 52-5555

人口と世帯	5月31日現在	前月比
	人口 14,344	- 6
	男 6,898	- 9
	女 7,446	+ 3
世帯数	3,899	- 7

町内散歩

藤の滝

山菜採りもたけなわとなりました。タケノコ、フキワラビ、と冬用に、もう漬けたでしょうか。

さて、小田川ダムの途中、湯の沢の前に嘉瀬山林道と、

ちよろど交差する地点に藤の滝が飛瀑しています。

藤の花も満開となり自然の造り出す虹と相伴して、今が見ごろです。ヒンヤリした空気が涼を促し、滝つぼから続く溪も、ここだけ別世界のようなです。たまにはお弁当を持って……。